

バギオだより

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-9 新盛ビル 5F
 TEL03-5367-1937 FAX03-5367-1938
 E-mail baguiofund@eos.ocn.ne.jp http://www.baguiofund.or.jp

会長 坂本俊雄(2750地区)
 幹事 羽鳥貞雄(2580地区)

バギオ街道のオアシス・寺岡農場

恒例のバギオ訪問は、毎年盛大に楽しく、そして忍耐強く実施されています。昔はバスの故障が多くありましたが、最近では日本製バス車両のため、この問題も解消されました。この行程、バギオ街道つまり国道13号線ですが、以前までは、マニラから航空便でしたが天候の変化で欠航が多く、近年は専ら時間の正確なバス旅行となっています。7時間を要しますが、何回も休憩しながら、山岳・田園風景そして田舎の街並み通過を繰り返しながら、ドラマTV放映等であまり時間を気にせずに消化できます。

バスガイドの説明もありますが、訪問団の一行が飽きてきた頃、寺岡農場に到着します。国道から離れてしばらく行くと、農場の手前に毎年立ち寄るカバルヤン小学校があり、児童達が日比両国の国旗を振って歓迎する情景が印象的です。遠路であるバギオ街道のオアシスともいえる寺岡農場は、小高い丘にあり、寺岡宅に連なる、たくさんのテーブルが並ぶテラスと側面にはプールがあり、ここに到着すると皆さんはホット安心し昼食の招待を受ける 将にオアシスといえます。長距離バス旅行は、この寺岡農場での昼食を期待して、長時間に耐えることが訪問団の一つの目的でもあります。

農場側は、既に食事の準備を済ませて、テラスのテーブルとビュッフェスタイルの料理が沢山並びます。この料理は、フィリピン料理は勿論、洋式・中華式ですが、特徴は日本式料理があることです。天ぷら、鳥から揚げ、巻き寿司、焼き鳥、焼ナス等で中華料理の春巻きもできます。しかし、なんといっても甘くて美味しいのは、取れたてマンゴーです。寺岡夫人はフィリピン人ですが、日本料理が上手で味も日本人好みです。日本人として大変懐かしく感謝しています。

さて、寺岡農場ですが、寺岡理事長が且って合弁企業を撤退後、荒廃地であったこの丘に連なる山地を購入、1992年、TERAOKA FARM会社を設立しました。ファームハウス、プールに次いで設けたのは、なんと幅30m、長さ600mの滑走路でした。彼は、太平洋戦争の頃、軍国少年で海軍航空隊の予科練に大変憧れましたが13才の年令では不可能でした。戦後、フィリピンで、いつかは飛行士になることが夢でした。1992年11月、米国テキサス州へ行き、4人乗り軽飛行機 セスナ172型を入手し、93年5月、寺岡ファームの滑走路に着陸しました、その年11月に航空士免許を取得、63才でしたので50年後にどうやら夢をかなえることができたわけです。以降、マンゴーの植樹を開始、苗木を5,200本植樹しました。

しかし、最近では異常気候で猛暑と豪雨また台風に襲われ、現在3,000本のマンゴーの実も順調に育たなくなりましたことから、今後は特別な有機肥料等を利用して、農業改革ではないですが、少なくとも品質改良を行って、東南アジアで有名な甘くて美味しい、フィリピン・マンゴーを育成してゆく計画をもっているようです。現在の農場事業は、120,000羽の空調式ブロイラーの養鶏場です、生後34日で鶏肉処理場へ出荷されます。

ご承知のとおり、カルロスB・寺岡氏は、財団法人北ルソン比日基金理事長の他、元日本国バギオ名誉総領事、全国日系人連合会長等を歴任されている日系二世であります。因みに現在の奨学生は日系五世、六世でしょう。

(ロータリーの友誌2002年5月号「バギオ日系人の父カルロス寺岡」参照)

バギオ基金 副会長 野口 広



寺岡邸とテラスの屋根、上は自家用飛行機滑走路



寺岡邸に連なるテラスで
 昼食前の寺岡理事長挨拶と訪問団一行

留学生のその後

第2期留学生のミアさんが2014年6月15日に京都にて開催された「転換期を迎える日本の介護 海外人材に対する視座—EPA・留学生・技能実習」というシンポジウムでスピーカーとして参加しました。以下スピーチの一部を掲載します。

皆様今日は。私はミア・レスリン・オプラスといいます。フィリピンの大学を卒業後、バギオ基金で福井県にある敦賀短期大学に2010年に留学しました。留学中に社会福祉法人敬仁会特別養護老人ホーム第2溪山荘ぽっぽで介護のアルバイトとして従事しました。その後、2013年にフィリピンとのEPA介護福祉士候補者として再来日し、現在留学中にお世話になった第2溪山荘ぽっぽで働いています。

私は日本に来て病院や施設にたくさんの高齢者が麻痺や認知症、そのほかの慢性疾患を抱えて暮らしていることにびっくりしました。アルバイトで介護に従事している間もこうした高齢者にどうしたら良い介護が提供できるのか関心を持ちました。それには、介護者の知識・技術・そして思いやりのある心が大切だと考えます。日本に留学している間、介護の仕事をしていて、介護の意味や大切さがかかるようになりました。(中略)私は、日本ばかりではなく、他の国の記事も読み、介護者の数が足りないということを知りました。高齢化が進む日本で、介護者を増やす仕組みをもっと作るべきだと思います。高齢者はそれ相応の介護を受けられることが当然の権利です。単に介護を受けるだけではなく、最後の1分1秒、息を引き取るまで、人間としての価値を持っているのです。これからの超高齢化社会に向けて、介護予防をはじめとして、介護者に優しい制度作りをもっと発展させてほしいと願っています。それには知識と技術を備え、暖かい心を持った介護者の育成が必要です。そこに国境はありません。



シンポジウムの様子



ミアさんのスピーチ



留学生 エミリーさん ミアさん クリスティンさん

◎第36回バギオ訪問交流の旅

2015年2月8日(日)～11日(水)の日程で行います。今回は、羽田発マニラよりチャーター機でサンフェルナンド空港へ向かいます。9月末より募集開始。詳細はホームページをご覧ください。

◎バギオ基金へのご協力に感謝いたします

2014年7月～8月の受入寄付金は、26件 421,316円です。

2013年度の寄付金受入額の合計は、360件 8,108,000円になりました。

***2013-2014年度分として 高田秀寿様 (東京荒川 RC)**

◇ 後援ロータリークラブからのご寄付

- 東京調布 RC
- 東京調布むらさき RC

◇ 後援者(個人、法人、推薦)からのご寄付 (敬称略)

- | | | |
|-------------------|-------------------------------|---------------------------|
| ●東京城東 RC
山田晃 | ●東京豊島東 RC
前川昭一 | ●東京調布 RC
竹腰昌明 |
| ●東京神田 RC
多田宏 | ●東京調布むらさき RC
新井七吾 小川満 遠藤誠幸 | ●東京原宿 RC
森川暁 |
| ●東京臨海 RC
斉藤実 | 粕谷啓之 熊澤和幸 黒滝直昭 | ●福井あじさい RC
前田和寛 前田メイリン |
| ●東京臨海東 RC
羽鳥貞雄 | 後藤秀文 関森正義 野澤康次郎 | ●和歌山北 RC
森本芳宣 |
| | 松澤博 村越六郎 山口晃市 | |
| | 吉井秀治 吉田勝重 | |

寄付金受入口座：郵便振替 00130-0-102022 ザイ)ヒコクイクエイカイバギオキ
三井住友銀行 東京中央支店 普通 8246604 イッパンザイダンホウジン ヒコクイクエイカイバギオキ

「バギオ基金」について、よりご理解を頂くために、卓話に伺わせていただきます。
ご希望のRCは基金事務局までお申し込み下さい。

Baguiofund